

ドレミファ器楽

フルスコア

SK-32

ビゼー

「アルルの女」第2組曲よりメヌエット

山下国俊 編曲

フルートの独奏曲として、あまりにも有名な曲で、一聴すればどんな人でも、その美しさに魅せられてしまいます。ここではリコーダー独奏用に編曲してあります。原曲はE[♭]durですが、リコーダーでは、演奏が困難となる為、一音上げてF[♯]durにしました。サイズは原曲通りです。B[♭]→Cの運指が、よく出てきます。まずこの運指を克服しなければなりません、替え指は最後の手段に残しておいて、やはり正規の指使いを用いるのが最善です。

演奏にあたっては、とにかくリコーダーとピアノの呼吸が大事です。ピアノは1小節毎に、ペダルを使用して下さい。③からのアコーディオンの伴奏型は、メゾスタッカートの奏法で、⑤からの大合奏は強奏ですが音色は飽くまで美しく。

D・Sの後、鍵盤ハーモニカと、テナーアコーディオンが、オブリガートを奏しますが、鍵盤ハーモニカは、省いてしまってもかまいません。最後はまたリコーダーとピアノのデュエットになります。美しく、消え入るように……。

尚この曲では、フルートは使用していません。

div = divisionの略

一人一人が和音弾きをするのではなく、各々が一個の音を弾いて和音をつくるという意味です。

独奏用
ソプラノ
リコーダー

(♩=76)

①

pp

ソプラノ
リコーダー

鍵盤
ハーモニカ

ソプラノ
アコーディオン

アルト
アコーディオン

テナー
アコーディオン
(オクターブ
上に記譜)

バス
アコーディオン

木 琴

鉄

pp

ビゼー

ドレミファ器楽

鍵盤ハーモニカ

「アルルの女」第2組曲よりメヌエット

山下国俊 編

(♩=76)

2nd time only Play

2 A 8 B Solo p C 7 10

D.S. Coda